

SEIKO

アウトドアクロック

取扱説明書

ソーラー式

QP-70

QP-70R

このたびは、セイコー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管してください


セイコータイムシステム株式会社
SEIKO TIME SYSTEMS INC.


— ご注意 —

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されております。
- (2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4)本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定のサービス部門以外の第三者により修理・変更されたことに起因して生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

— 本書で使用の記号について —

本書に使用される記号の意味は次の通りです。

 危険	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
--	---

 警告	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
---	--



お使いいただくために必要な情報です。

目 次

1. 安全のために必ずお守りください	1
2. 概要	2
3. 予備品・付属品	2
4. 時計の取り付け前に	3
5. 取り付け工事の注意	4
6. 時計の取り付け方	5
(1)壁掛型	5
(2)両面ポール型	7
7. 接地工事	7
8. 太陽電池の調整・取り付け	8
(1)壁掛型	8
(2)両面ポール型	8
9. 結線	9
(1)壁掛型	9
(2)両面ポール型	9
10. バッテリーの接続	10
11. 駆動器の取り付け	10
(1)両面ポール型の場合	10
(2)壁掛型の場合	10
12. 駆動器の取り扱い方法	11
(1)駆動器の時刻の合わせ方	11
(2)子時計の時刻の合わせ方	12
(3)調針中に子時計を停止させるには	12
(4)子時計の時刻が合わなかった場合	12
(5)ご使用中に時刻を調整する場合	13
13. 電波修正機能について	14
(1)概要	14
(2)仕様	14
(3)取り扱い方法	14
(4)外部アンテナを取り付ける場合	15
(5)電波修正の確認方法	16
14. サマータイム	17
15. 故障と思われる前に	18
16. お客様へのお願い	19
17. 時計駆動器のバッテリー交換について	19
18. 部品のご注文について	20
19. 保証について	20
20. 時計仕様	20
(1)壁掛型	20
(2)両面ポール型	21
21. 駆動器仕様(QP-70・QP-70R)	22

1. 安全のために必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい注意事項を示しています。

●お客様用

⚠ 危険	
取り付け・電気工事の禁止	お客様は、取り付け・電気工事および文中の「工事業者様へ」と書かれた枠内の作業を絶対に行わないでください。必ず、工事業者へご依頼ください。感電・火災・落下の危険があります。

⚠ 警告	
時計の点検・補修・清掃	年に一回程度、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。高所での点検・補修・清掃作業は、人身事故にいたることがあります。

●工事業者様用

—— 工事業者様へ ——

⚠ 警告	
時計取り付け工事の注意事項	
1. 共通事項	
取り付け場所の強度	取り付ける建造物の構造が、この製品の重さに十分耐えられることを確かめてください。この製品の重さは、最大で約25kgです。強度の弱い所に取り付けた場合、風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
取り付けに使うボルト	製品を取り付けるボルトは、ステンレス製または鋼製亜鉛メッキ品を使用してください。ただし、鋼製亜鉛メッキ品を使用するときは、取り付け後必ず防錆塗料を塗ってください。他のボルトを使用すると腐食により製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

⚠ 警告

2. 壁掛型の取り付け

取り付け方法	壁面がコンクリートの場合は、MIOAYプラグボルトをご使用ください。木ネジによる取り付けは、絶対に行わないでください。風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
時計固定ネジと取り付けボルトの締め付け	時計固定ネジと取り付けボルトは、十分締め付けてください。締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

3. 両面ポール型の取り付け

時計固定ネジの締め付け	時計固定ネジは、十分締め付けてください。締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
接地工事	ポールは接地してください。接地しないと、落雷や漏電のとき感電することがあります。なお、接地は第三種接地以上の工事を施工してください。

2. 概要

このたびは、セイコーアウトドアクロックをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

QFCシリーズは太陽電池を使用しており、時計体と専用時計駆動器（QP-70/70R）から構成されております。

3. 予備品・付属品

○木ネジ(時計駆動器木壁取り付け用)		4.1×16	2個
○ミニヒューズ	1 A	φ5.2×20	2個
○圧着スリーブ		1-SD	10個
○インシュロックタイ(電波修正機能付きのみ)			1本
○取扱説明書			1冊
○保証書			1枚

製品の開梱時にご確認ください。

4. 時計の取り付け前に

●時計動作の確認



お願い/

- (1)輸送などによる不具合が生じていないか、取り付ける前に仮運転を項目(2)の方法で実施してください。
- (2)この時計に使用されているバッテリーの自然（自己）放電を補うため、時計体と時計駆動器を接続したのち、仮運転のまえに約1～2時間、太陽電池に太陽光を照射させてください。充電が開始され時計が動作します。

●取り付け場所の選択



お願い/

- (1)時計を取り付ける場所、位置については、建造物の構造や地表からの高さ・角度・障害物などを十分たしかめ、落下事故などの危険防止や取り付け工事、その後の保守・修理などに時間や費用が、かかりすぎない様ご配慮ください。
- (2)時計の設置場所は太陽電池部に太陽光が1日最低4時間以上（AM10:00～PM2:00）当たるところを選んでください。
- (3)時計設置場所に太陽光が当たらない場合は、太陽電池部を太陽光の当たる場所に設置してください。（壁掛型の場合）
- (4)将来、樹木の生長、ビルの建築等で日影にならない場所に設置してください。太陽光が1日4時間以下のところでは、バッテリーに充電が十分にできず、時計が停止することがあります。


●取り付け場所

 **警告**


取り付ける建造物の構造が、この製品の重さに十分耐えられることを確かめてください。この製品の重さは、最大で約25kgです。強度の弱い所に取り付けた場合、風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

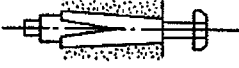
5. 時計の取り付け工事の注意

●取り付けに使うボルト

 警告	<p>製品を取り付けるボルトは、ステンレス製または鋼製亜鉛メッキ品を使用してください。ただし、鋼製亜鉛メッキ品を使用するときは、取り付け後必ず防錆塗装を塗ってください。他のボルトを使用すると腐食により製品が落下し、人身事故にいたることがあります。</p>
---	---

●壁掛型の取り付け方法

 警告	<p>壁面がコンクリートの場合は、MIOAYプラグボルトをご使用ください。木ネジによる取り付けは、絶対に行わないでください。風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。</p>
---	---

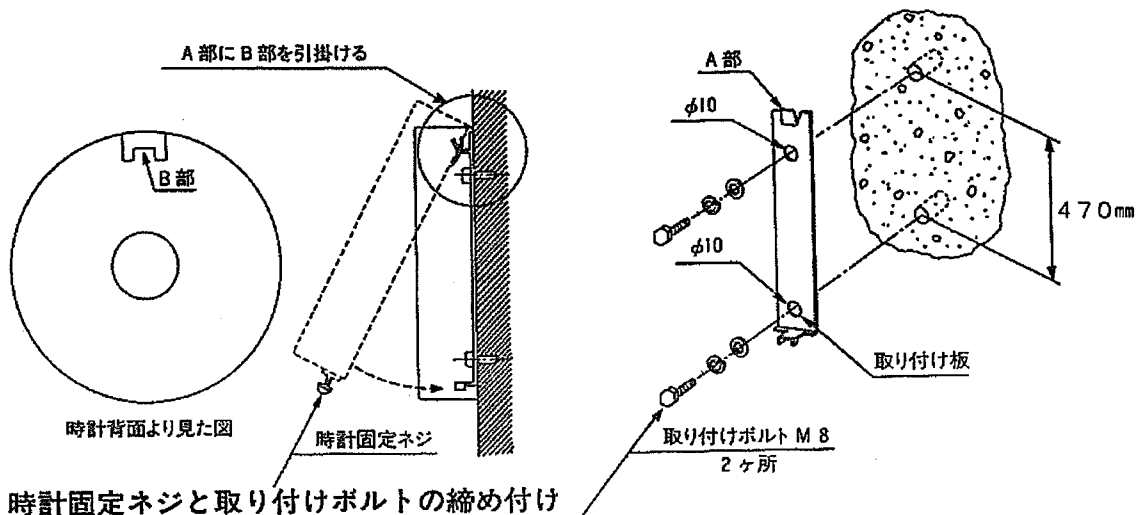
<p>A Y プラグボルト コンクリート型</p> <p>MIO</p> 	<p>1600kg</p> <p>コンクリート強度</p> <p>250kg/cm²にて</p>	<p>上塗り(モルタル、漆喰)の厚さに注意してください。</p>
--	---	----------------------------------

注：QFC-503, 503GのA YプラグボルトのみM8を使用してください。

6. 時計の取り付け方

(1) 壁掛型

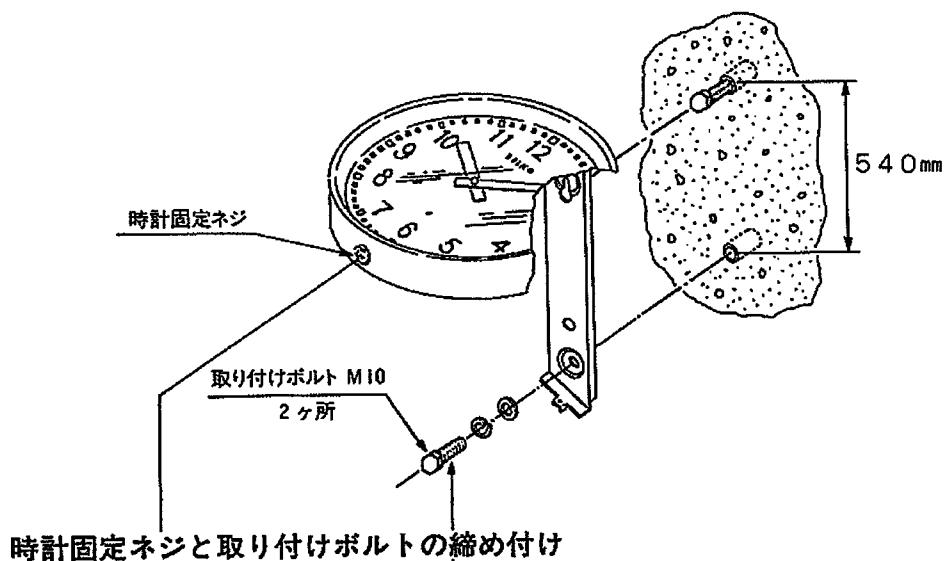
QFC-503, 503G



警告

時計固定ネジと取り付けボルトは、十分締め付けてください。
締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

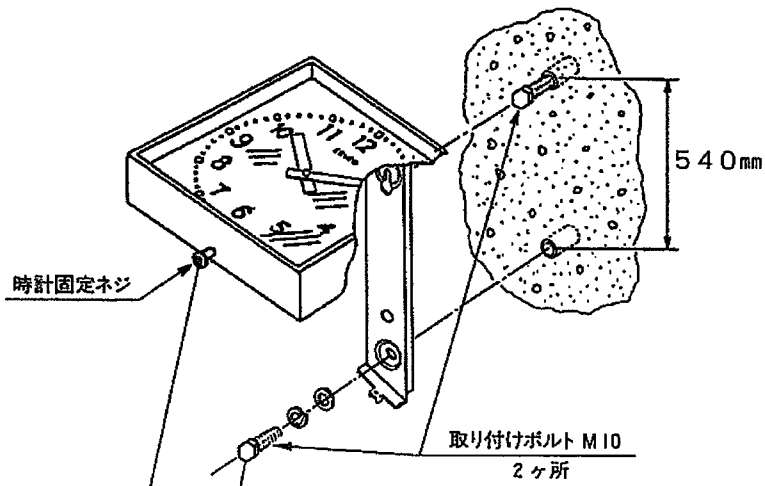
QFC-703, 703G, 707




警告

時計固定ネジと取り付けボルトは、十分締め付けてください。
締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

QFC-723



時計固定ネジと取り付けボルトの締め付け

 警告	<p>時計固定ネジと取り付けボルトは、十分締め付けてください。 締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。</p>
--	---

(2)両面ポール型

QFC-783, 785, 787, 789, 793

※角型 (QFC-793) の取り付け方法も丸型に準じます。

時計固定ネジの締め付け

警告

時計固定ネジは、十分締め付けてください。締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。

両面ポール型時計の取り付けの際は、ケーブルの黄色と橙色が接続されている面〔予時計 No.1〕を確認し、メモを残すなどして時刻合わせの際に識別できるようにしておいてください。

お願い

ポール内に時計駆動器を取り付ける場合には、水抜き穴が必要です。

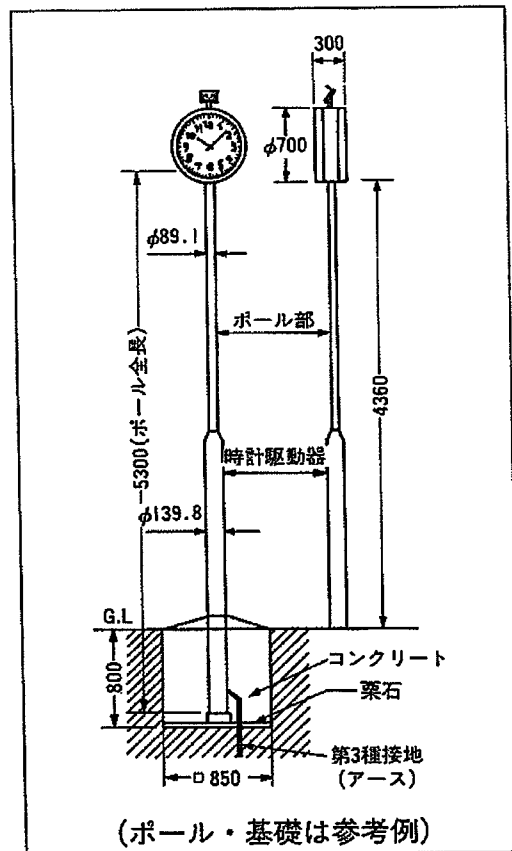
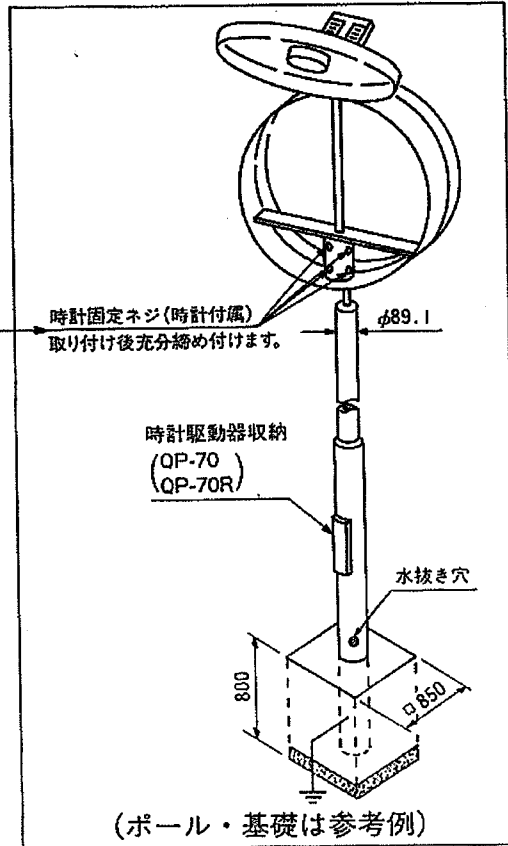
ポール内に水が溜まりますと、駆動器の故障の原因となります。地理的条件によりますが、地表から最低10cmのところ、ポールへφ10mm程度の穴を1ヶ所ドリルで開けます。(積雪のない地域)

冬期、積雪の多い地域では、程度に応じて、駆動器の取り付け場所や水抜き穴の位置をやや高めにするなどご留意ください。

7. 接地工事

警告

ポールは接地してください。接地しないと、落雷のとき感電することがあります。なお、接地は第三種接地以上の工事を施工してください。



8. 太陽電池の調整・取り付け

(1) 壁掛型

○調整

まず太陽電池の取り付けネジをゆるめます。

お願い!

太陽電池面に太陽光が1日4時間以上(AM10:00~PM2:00)当たる方向へ調整し、最後に取り付けネジを確実に締め付けます。(図1)

○取り付け

(図2)のように時計上部より15~20mm離して取り付けます。

※時計設置場所に太陽光が当たらない場合は、太陽電池部を太陽光の当たる場所に設置してください。

(2) 両面ポール型

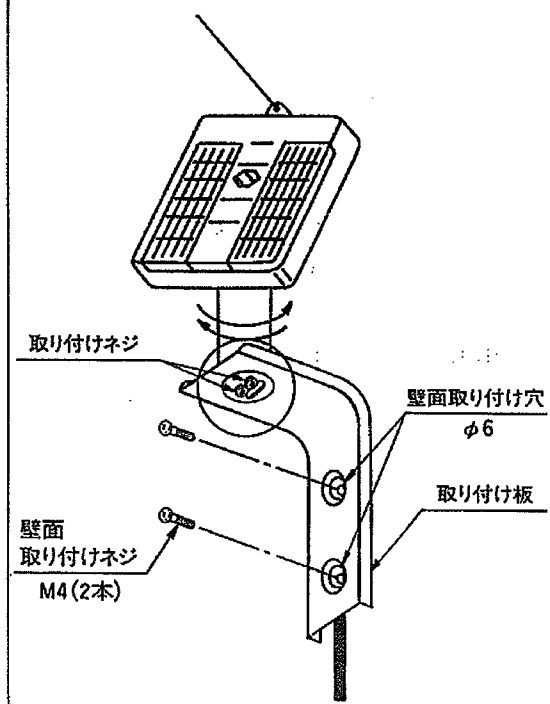
○調整

時計内部より取り付けネジをゆるめます。

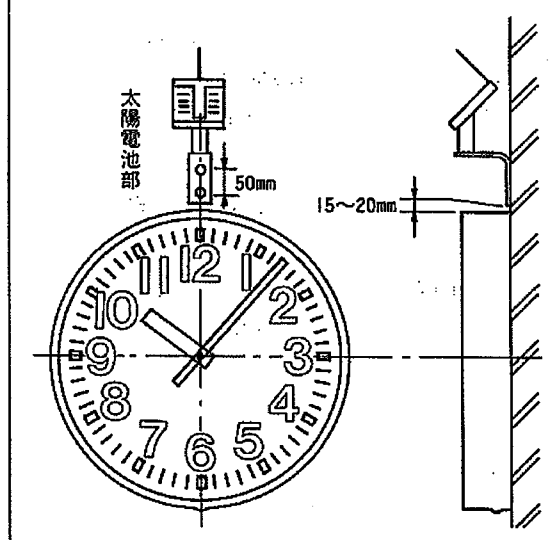
お願い!

太陽電池面に太陽光が1日4時間以上(AM10:00~PM2:00)当たる方向へ調整し、最後に取り付けネジを確実に締め付けます。(図3)

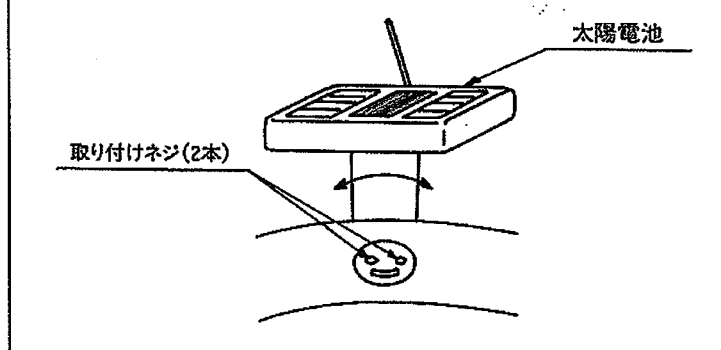
(図1)



(図2)



(図3)



9. 結 線

お願い!

結線の際は以下のことにご注意ください。

- 結線は電線に適した圧着スリーブ（付属）を使用し、確実に圧着してください。（図4）
- 使用しない線はショートしないよう先端を1本ずつ圧着処理してください。
- 太陽電池の結線を間違えますと、約1~3ヶ月後時計が停止します。
- 時計の結線を間違えますと0秒合わせを行っても、0秒にならず、30秒を指します。
- 寒冷地など昼夜間の温度差が著しい場所では、時計やポール内部に結露が生じ易くなります。圧着スリーブで接続した後は、水滴による接続部の腐蝕を防止するためスリーブを上向きにしておいてください。（図5）
- 壁掛型の場合、時計本体から駆動器までの距離は、お客様の都合により一定ではありませんので、その間のケーブルは付属品として添付しておりません。

(1) 壁掛型

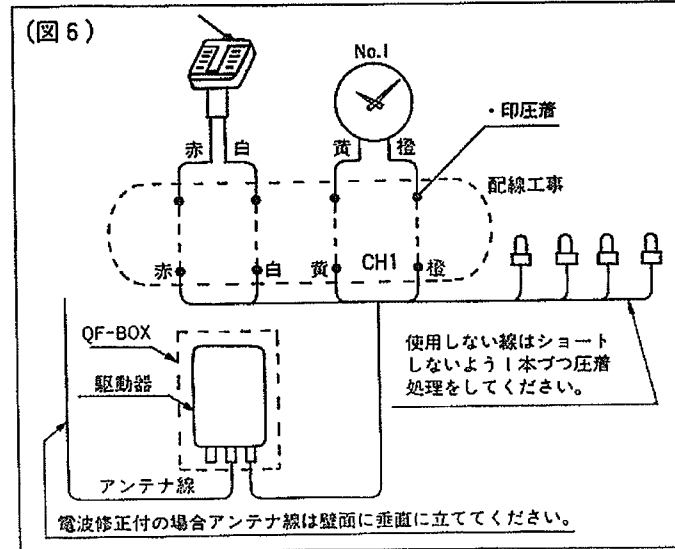
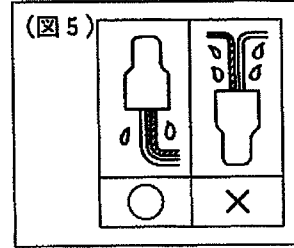
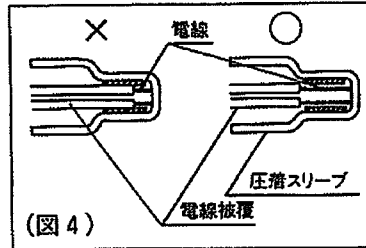
付属の圧着スリーブで同色接続します。（図6）

(2) 両面ポール型

付属の圧着スリーブで同色接続します。（図7）

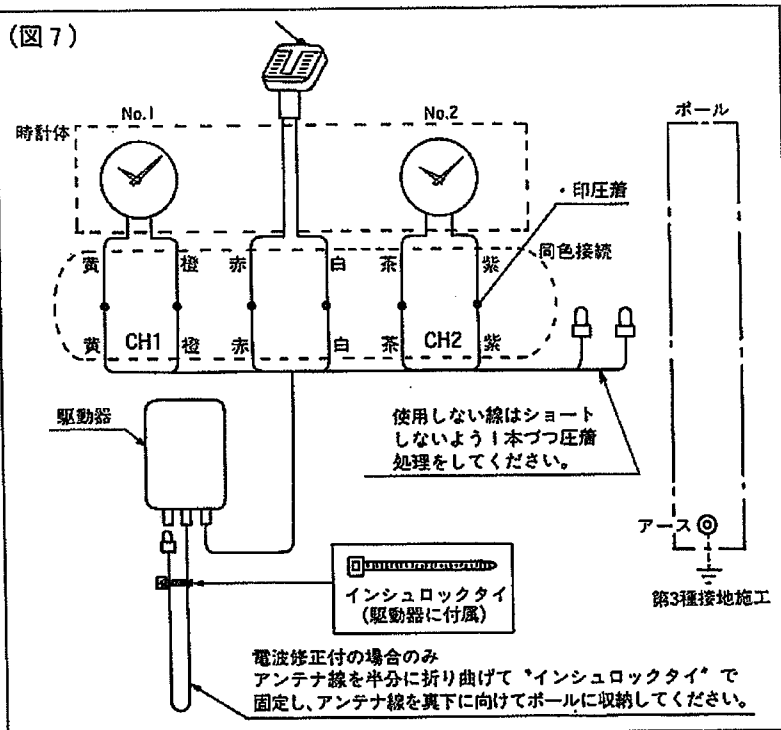
両面型の場合、どちらの面がNo.1/No.2なのか、わかるようにメモしてください。

子時計	名 称
No.1 (CH1)	例: 北側
No.2 (CH2)	例: 南側



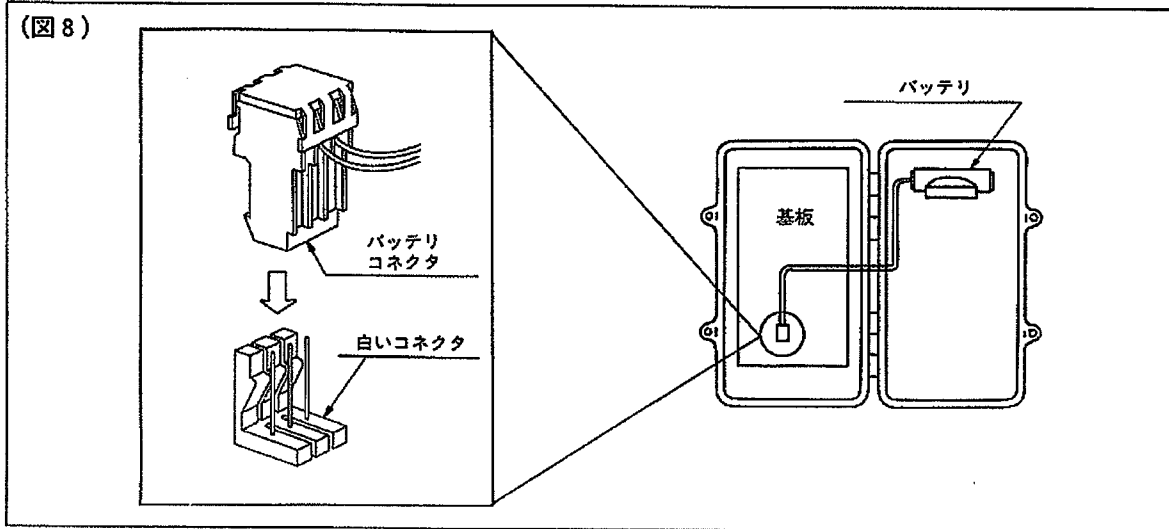
配電工事の電線径（図6点線部）

	100m	200m
時計へ	φ0.65又は□0.5以上	φ1.2又は□0.75以上
太陽電池へ	φ1.2又は□1.25以上	φ2又は□2以上



10. バッテリーの接続

結線後、時計駆動器のふたを開けてバッテリーのコネクタを基板のCN-1（白いコネクタ）と接続します。その際、コネクタの向きにご注意ください。（図8）



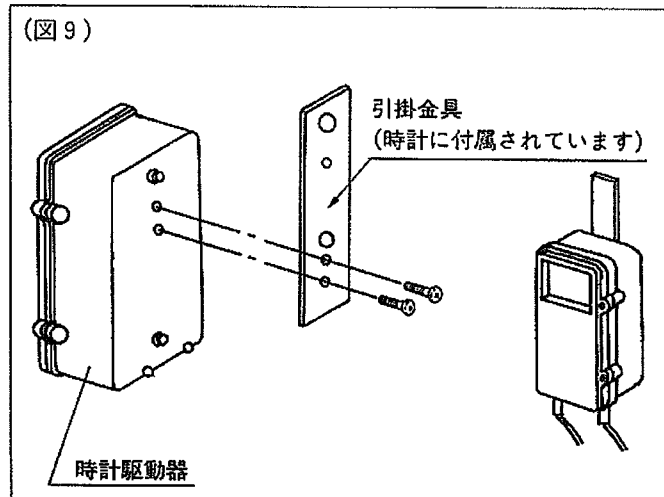
11. 駆動器の取り付け

(1)両面ポール型の場合

時計に付属されている引掛金具を駆動器背面に取り付け、ポール内へ収納してください。（図9）

(2)壁掛型の場合

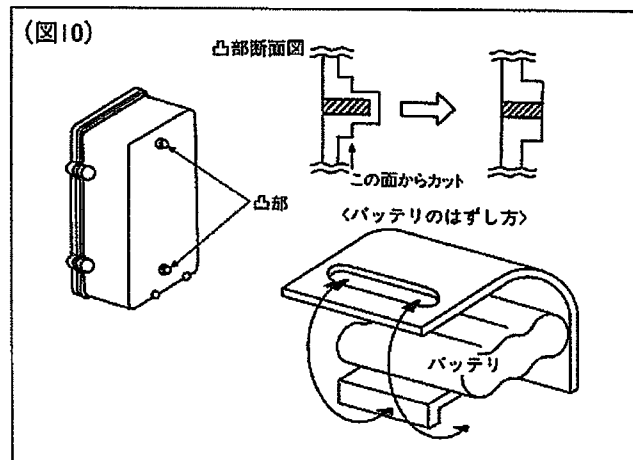
駆動器背面の凸部をカットすると取り付け穴が貫通します。前面ふたを開け、駆動器内上部にあるバッテリーを一旦はずして内側よりネジで壁面に取り付けます。（図10）



駆動器の収納方法

お願い /

駆動器は屋内用です。屋外へ取り付けの際は、QF-BOXに（別売）収容して取り付けてください。これを行わない場合は、駆動器に水が侵入し、機器が破損します。

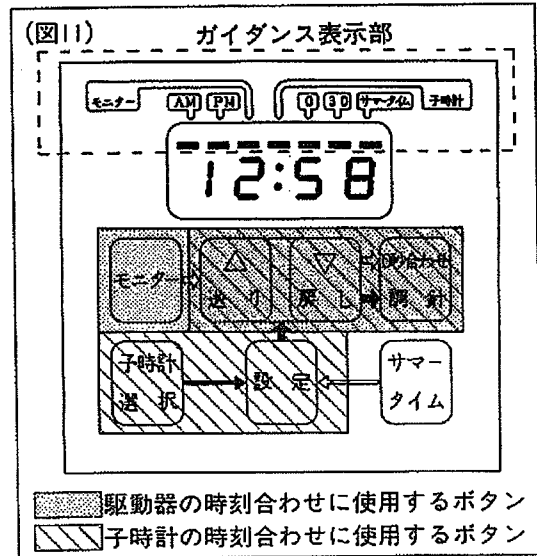


12. 駆動器の取り扱い方法

●ガイダンス表示の見方 (図11点線内)

点灯または点滅している「—」がそれぞれのガイダンスを表します。

- (a) AM・PM：午前の時AM、午後の時PMが、それぞれ点灯します。
- (b) モニター：駆動器の時刻合わせの時点灯します。
- (c) 子時計：子時計の時刻合わせの時点灯し、調針中は点滅します。
- (d) 0、30：子時計は30秒間欠運針ですので、その分針の位置が0秒側か30秒側かを表します。
- (e) サマータイム：サマータイム中は点灯し、サマータイム開始あるいは解除の待機中は点滅します。



●時刻の合わせ方

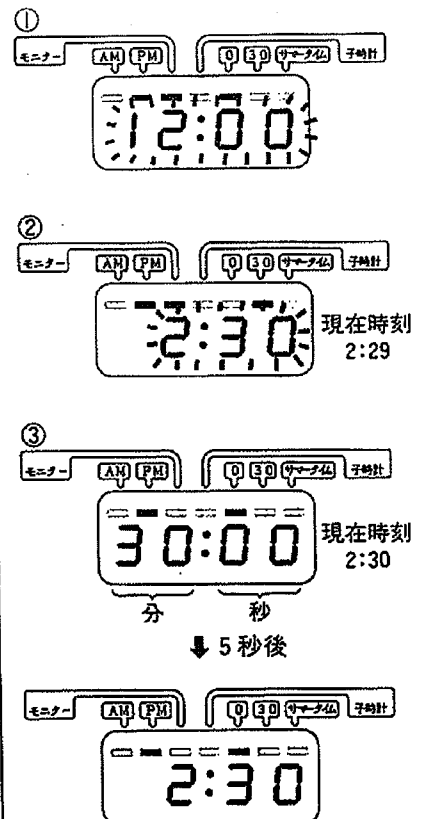
- ① 駆動器を現在時刻に合わせます。
- ② 子時計がそのとき、指している時刻を駆動器に入力します。
- ③ **0秒合わせ調針** を押しますと子時計が自動調針されて現在時刻に合います。

(1) 駆動器の時刻の合わせ方

手元の時計で合わせる場合はあらかじめラジオあるいは電話の時報(局番無しの117番)で時刻を正確に合わせておいてください。

- ① **モニター** を押して時刻合わせモードにします。時刻の表示が点滅し、ガイダンス表示の〔モニター〕が点灯します。これで時刻合わせモードになりました。
 - ② **送り** または **戻し** を押して、現在時刻の1分後の時刻を表示させます。
* 1分ずつ進ませる(戻す)ときは1回ずつ押します。
* 押し続けると速く進み(戻り)ます。
 - ③ 0秒の時報、または、手元の時計の0秒と同時に **0秒合わせ調針** を押します。
点滅が止まり、約5秒間は分・秒表示になります。この間に、正確に秒が合わせられたかどうかを確認できます。ガイダンス表示の〔モニター〕は消えます。これで駆動器の時刻が現在時刻と合いました。
- 時刻合わせを中断したいときは…
再度 **モニター** を押すと、時刻合わせモードに入る前の状態に戻ります。

ガイダンス表示
(時刻表示は一例です)



(2)子時計の時刻の合わせ方

両面時計の場合、一面を子時計No.1に他面を子時計No.2とします。

- ① まず、子時計No.1の時刻を入力します。

子時計選択 を押して、液晶モニターに〔CH1〕を表示させます。

このとき、ガイダンス表示の〔子時計〕が点灯して子時計の時刻合わせモードになったことを示します。

- ② **設定** を押して出力系統(CH)を決定します。液晶モニターの表示が時刻表示に変わり点滅します。この操作で子時計は停止しますので、この状態で子時計No.1の時刻を確認してください。

- ③ **送り** または **戻し** を押して、子時計No.1が指している時刻を入力します。このとき、AM、PMの区別はしません。(ガイダンス表示は消えています)

また、時刻は12時間制で入力します。

- ④ 次に子時計No.2の時刻を入力します。(片面の場合、④・⑤は省略)

子時計選択 を押して、液晶モニターに〔CH2〕を表示させます。

- ⑤ 以下②～③の操作を繰り返します。(子時計No.2が指している時刻を入力します。)

- ⑥ 時刻をすべて入力し終わったら、子時計に調針をかけます。**0秒合わせ調針** を押します。子時計が2面同時に調針を始めます。

このときのガイダンス表示の〔子時計〕は点滅し、子時計の調針中を表しています。

時刻表示は現在時刻を表していますので、子時計の時刻とは関係ありません。

- ⑦ 調針は子時計が現在時刻に合うと自動的に止まります。ガイダンス表示の〔0〕・〔30〕はどちらかが表示されています。また、〔子時計〕の表示は消えます。これで子時計の時刻が合いました。

(3)調針中に子時計を停止させるには

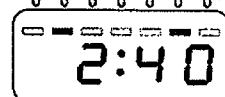
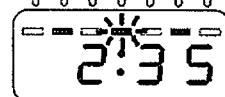
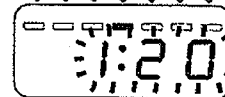
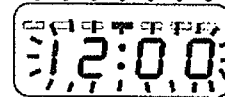
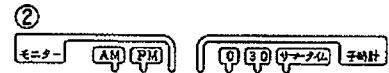
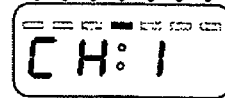
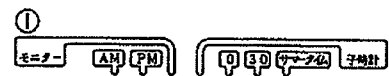
子時計選択 を何回か押して〔―――〕表示させ、**設定** を押します。

これで子時計は停止し、ガイダンス表示の〔子時計〕の表示が消えます。

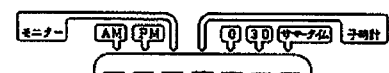
(4)子時計の時刻が合わなかった場合

- 〔CH1〕に子時計No.2の時刻を入力したなどの時刻の誤入力と考えられますので、確認の上、子時計の時刻を再入力してください。
- 駆動器と子時計の誤結線と考えられますので、P9の結線方法をご参照の上、正しく結線を行なってください。

ガイダンス表示




↓ **設定** を押す



(5)ご使用中に時刻を調整する場合

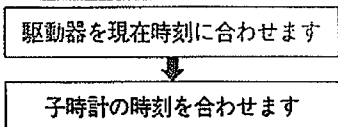
●時刻合わせの手順

 **お願い/** 表に記載されている手順を必ずお守りください。手順通りに時刻合わせを行わないと正しい時刻に合いません。

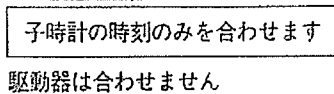
〈チャート表〉

駆動器が現在時刻と合っていない/いる	子時計と駆動器の時刻が違う/同じ	子時計が現在時刻と合っていない/いる	手 順
合っていない	同 じ	合っていない (1分以上)	⇒ 手順(1)
		合っていない (1分未満)	⇒ 手順(3)
	違 う	合っていない	⇒ 手順(1)
		合っている	⇒ 手順(1)
合っている	違 う	合っていない	⇒ 手順(2)

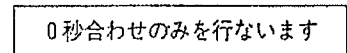
手順(1) P11参照




手順(2) P12参照



手順(3) P11参照



 **お願い/** 晴天でない日が70日以上（一部の機種は90日）続いた場合、太陽電池に太陽光を1～2時間照射させてから、手順(1)で時刻合わせを行ってください。

●時刻の遅れまたは進みを少なくするには（デジタル緩急機能）

○デジタル緩急とは

駆動器の時刻合わせで0秒合わせのみを定期的に行いますと、その都度、進み・遅れを読み取りその誤差を自動的に補正していきます。

この機能をデジタル緩急といいます。

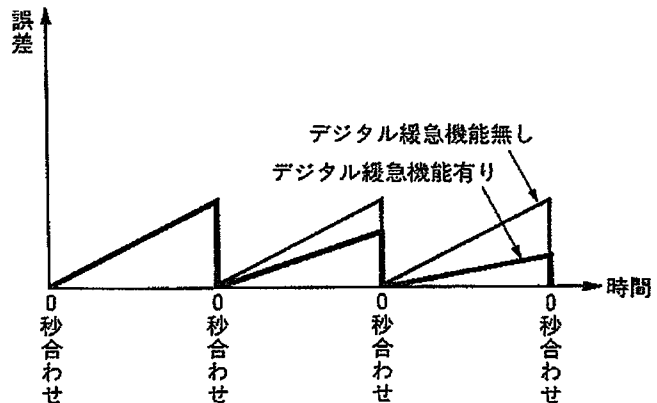
○デジタル緩急機能を有効に使うには

定期的に月1回程度、0秒合わせを行います。

0秒合わせをするための基準となる時計を、時報などで正確に合わせておいてください。

正確に合わせませんと誤差の読み取りがうまくいかなくなり、時計の自動補正が正確にできなくなります。

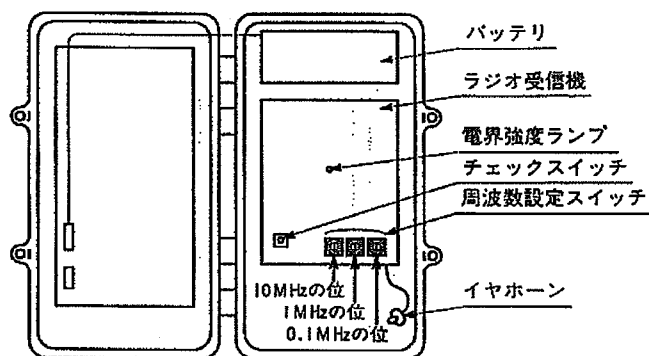
※電波修正機能付きの場合には必要ありません。



13.電波修正機能について

(1)概要

電波修正機能は内蔵のラジオ受信機でNHK-FM放送を受信し、この時報信号によって水晶時計のわずかな積算誤差を自動的に修正するものです。




(2)仕様

- ①修正回数：午前7時 1日1回
- ②受信周波数：76～90MHz 設置場所のNHK-FM局の周波数に合わせます。
- ③受信感度：48dB μ V/m
- ④修正範囲：駆動器誤差 \pm 15秒以内

(3)取り扱い方法

- ①チェックスイッチを押してイヤホーンで音声を聞きながら、周波数設定スイッチをNHK-FM局の周波数に合わせます。この時、「電界強度」ランプが十分点灯し、音声が明瞭に聞こえることを確認してください。

 **お願い/** 本機は、ラジオ受信機の周波数設定を行わないと、電波修正動作を行いません。必ずNHK-FM局の周波数に合わせてご使用ください。周波数は地域により異なります。

NHK-FM局以外の周波数に合わせますと、電波修正を行わない場合があります。新聞の番組表などにより、ご使用場所のNHK-FM局の周波数をご確認ください。

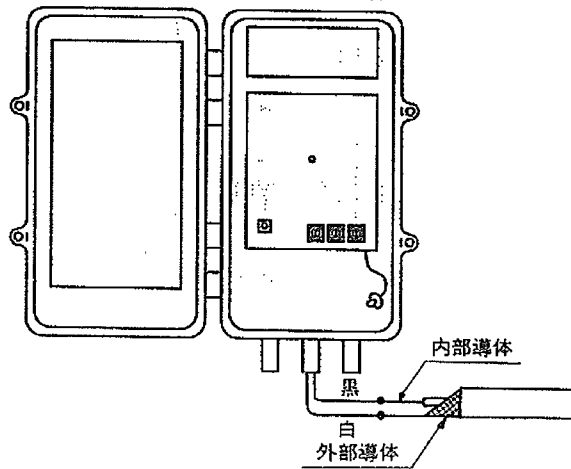
修正動作を確認する場合は、時計体を垂直にして行ってください。

- ②「電界強度」ランプが点灯しないのは、駆動器のアンテナ線では電界強度が不足しているためです。アンテナ線の代わりに外部アンテナを設置してください。

(4)外部アンテナを取り付ける場合

外部アンテナを設置する場所は、受信する電波の電界強度が強く、かつ外来雑音の少ない場所を選んでください。

引き込み線は、雑音の影響を受けにくい3C-2Vなどの同軸ケーブルをご使用ください。その際、駆動器のアンテナ線は10cm以内に短く切断してから、同軸ケーブルと接続してください。(下図参照)



(5)電波修正の確認方法



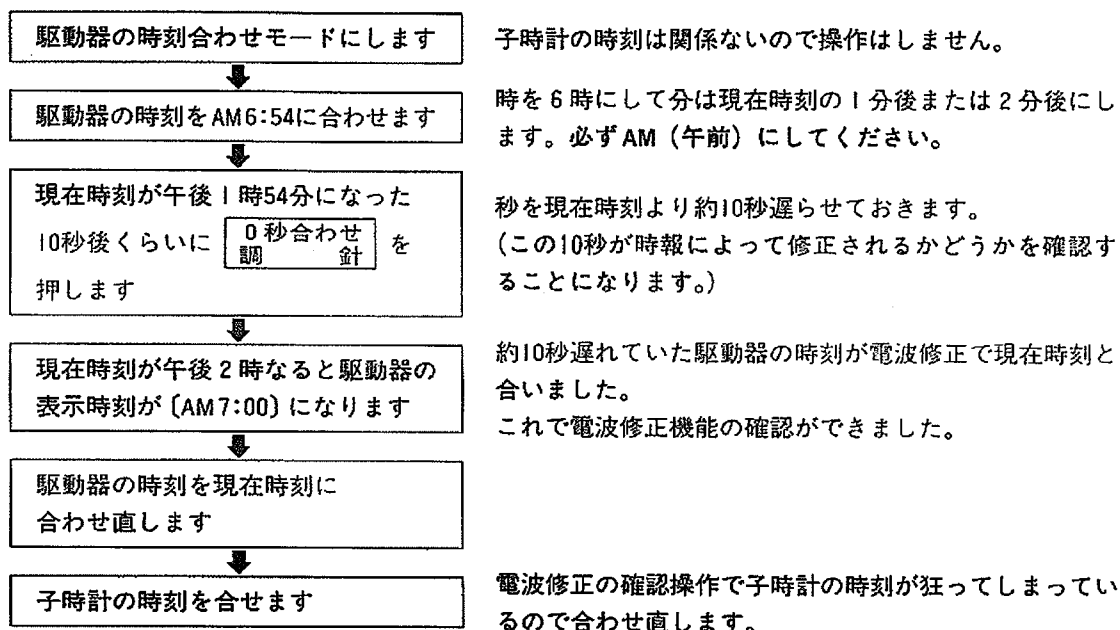
お願い/

通常はイヤホンおよび電界強度ランプによる確認で十分ですが、ご使用中に時刻に進み・遅れが生じた場合は、以下の方法で電波修正機能が正常に作動しているかどうかを確認してください。

○時報が出る時刻の少し前から電波修正の確認の準備をします。

例) 午後2時の時報で確認する場合

通常電波修正は駆動器の時刻がAM7:00を表示した際に行われますので、駆動器の時刻を午前7時前にずらします。例えば現在時刻が午後1時52分だった場合は、



○確認できなかった場合、下記のことが原因と思われます。

- * 時報の出る時刻が違っていた(時報が出なかった)。
- * AMでなくPMにしてしまった。
- * 時刻を間違えた(時をAM6時にしなかった)。
- * 秒を合せるとき15秒を越えてずらしてしまった(±15秒までに合わせます)。
- * 基準となる時計が現在時刻と正確に合っていなかった(基準となる時計は正確に合わせておきます)。
- * ラジオ受信機がその地域のNHK-FMの周波数に合っていなかった。

14. サマータイム

●操作の方法

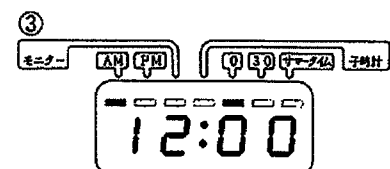
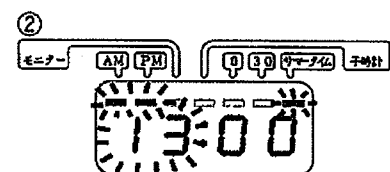
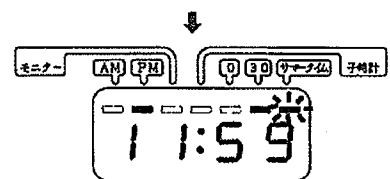
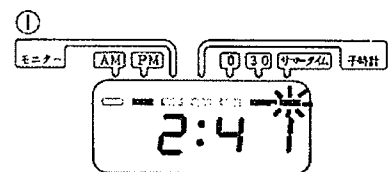
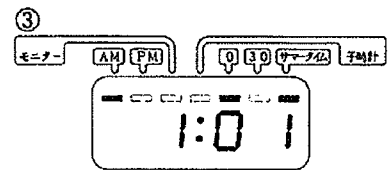
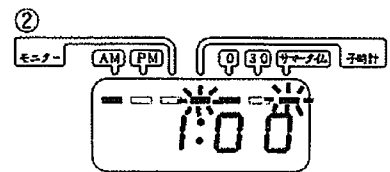
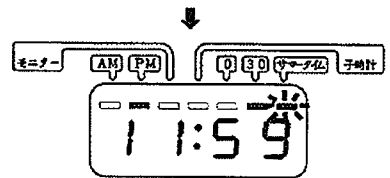
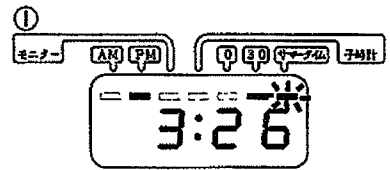
○サマータイムが始まる場合（開始）

- ① サマータイムが始まる前日に **サマータイム** を押しながら **設定** を押します。(操作はこれで終了です)
ガイダンス表示の [サマータイム] が点滅します。
- ② 午前12時になると同時に駆動器の時刻表示が [AM 1:00] となり、ガイダンス表示 [子時計] が点滅し子時計も自動的に1時まで早送りされます。
- ③ 子時計の修正が終了すると、ガイダンス表示の [サマータイム] が点滅から点灯となり [子時計] の表示が消えます。
これでサマータイムとなりました。

○サマータイムを解除する場合（終了）

- ① サマータイムが終わる前日に **サマータイム** を押しながら **設定** を押します。(操作はこれで終了です)
ガイダンス表示の [サマータイム] が点灯から点滅に変わります。
- ② 午前12時になると同時に駆動器の時刻表示が [AM PM 13:00] となり、"AM"、"PM"、"13" が点滅します (通常の時刻でないことを表示するため)。このときから子時計は12時で1時間停止します。
- ③ 駆動器の表示が [AM PM 13:59] から [AM 12:00] に変わったとき、"AM" が点滅から点灯に変わり "PM"、"13" 表示は消えます。また、ガイダンス表示の [サマータイム] の表示が消えます。
これでサマータイムが解除になりました。

ガイダンス表示



15. 故障と思われる前に

●まず、次の事を確認してください。

*時計が遅れる(進む)——太陽電池に1日4時間以上(AM10:00~PM2:00)太陽光が当たっていますか？

ビルや街路樹の陰になっていませんか？

*時計が動かない———バッテリーが自然放電により空になっていることが考えられます。1~2時間太陽光に当ててから時刻合わせを行ってください。

●以上の確認でなおらないときは、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。

時計駆動器の点検について



お願い!

時計駆動器の点検は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。

工事業者様へ

●まず、次の事を確認してください。

○子時計及び太陽電池の結線がはずれていないか

*時計が遅れる(進む)——太陽電池に1日4時間以上(AM10:00~PM2:00)太陽光が当たっていますか？

ビルや街路樹の陰になっていませんか？

—バッテリーのコネクタが接続されていますか？

—ラジオが設定場所のNHK-FM放送に合わせてありますか？
(電波修正機能付きのみ)


—最初の時刻合わせが正しい時刻に対して±15秒以内に合せてありますか？(電波修正機能付きのみ)

*時計が動かない———バッテリーが自然放電により空になっていることが考えられます。1~2時間太陽光に当ててから時刻合わせを行ってください。

16. お客様へのお願い

(1)両面ポール型を設置される場合は、建造物になりますので「工作物確認申請」が必要です。

(2)時計の点検・補修・清掃について

 警告	年に一回程度、時計の点検・補修・清掃を、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 高所での点検・補修・清掃作業は、人身事故にいたることがあります。
---	--

工事業者様へ

- 時計枠・取り付けボルトなどの錆は美観をそこなうだけでなく、取り付け強度低下の原因にもなりますので、年に一回程度、取り付けボルトのゆるみ点検を行ってください。
又、著しい錆がでる前に清掃塗装直しを実施されたほうが長持ちさせ、美観を維持することができます。
- 時計枠がステンレス製の場合でも、周囲の鉄粉などが付着してもらい錆をおこすときがあります。もらい錆を未然に防ぐために定期的にクリーニングを行ってください。特に、工業地帯や海岸付近はもらい錆が発生しやすいので、光沢を保つためにはステンレスの表面をいつもきれいにしてください。
- 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ふきをしてください。
- ベンジン、シンナー、ミガキ粉、各種ブラシなどの使用はおやめください。

17. 時計駆動器のバッテリー交換について



お願い

時計駆動器のバッテリー（ニッカド電池）の交換は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。

18. 部品のご注文について

部品のご注文の際は、下記名称をご指定ください。

部 品 名	型 式
太 陽 電 池	PSP1425-121SE
バ ッ テ リ	3-C1.0、1000mAH
バ ネ ル 基 板	No.1634-4(QP用)
ラ ジ オ 基 板	RU-9A-APX
機 械 体	M755
ヒ ュ ー ズ	管入ミニヒューズ1A

19. 保証について

- 保証期間内に正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書をそえてお買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へお申し出ください。
- 保証内容は、保証書に記載した通りです。
- 修理の可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なりますし、精度も元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご相談ください。
- 修理のとき、時計枠・ガラス・文字板・針・その他の付属品などは、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

20. 時計仕様 (G:ガラス、R:電波修正機能付き)

(I)壁掛型

- ・φ550

	QFC-503G QFC-503GR	QFC-503 QFC-503R
外 形 寸 法	鋼板 コーヒーブラウン色塗装 外径550mm×厚み90mm	
重 量	5.5kg	4.7kg
前 面	透明ガラス	ポリカーボネート

・φ700

	QFC-703G QFC-703GR	QFC-703 QFC-703R	QFC-707 QFC-707R
外 形 寸 法	鋼板 コーヒーブラウン色塗装		ステンレスミガキ
重 量	外径700mm×厚み99mm		
前 面	8.5kg	7.5kg	7kg
	透明ガラス	ポリカーボネード	

・□700

	QFC-723 QFC-723R		
外 形 寸 法	鋼板 コーヒーブラウン色塗装		
重 量	700mm×700mm×厚み100mm		
前 面	13kg		
	ポリカーボネード		

(2)両面ボール型

・φ700

	QFC-783 QFC-783R QFC-785 QFC-785R QFC-789 QFC-789R	QFC-787 QFC-787R
外 形 寸 法	鋼板 コーヒーブラウン色塗装	
重 量	ステンレスミガキ	
前 面	外径700mm×厚み300mm	
	19.5kg	18kg
	ポリカーボネード	

・□700

	QFC-793 QFC-793R		
外 形 寸 法	鋼板 コーヒーブラウン色塗装		
重 量	700mm×700mm×厚み300mm		
前 面	25kg		
	ポリカーボネード		

21. 駆動器仕様(QP-70・QP-70R)

原	振	水晶発振 4.194304MHz
精	度	月差±3秒以内(常温+5℃~+35℃) 電波修正機能付きは積算誤差0秒、デジタル緩急機能付き
動	作	温度範囲
使	用	湿度条件
子	時	計
消	費	電
不	日	照
時	刻	表
時	刻	合
調	針	
付 属 機 能	外	部
	サ	マ
	デ	ジ
電	波	修
寸	法	
重	量	

※この商品の仕様は改良のため予告なく一部変更することがありますのでご了承ください。

当製品に関するお問い合わせおよび修理依頼は、お買い上げ
いただいた販売店もしくは下記へご連絡ください。

セイコータイムシステム株式会社

東 京 03(5646)1601

札 幌 011(640)6280

東 北 022(261)1323

信 越 0263(27)8601

名古屋 052(723)8531

大 阪 06(6445)8804

広 島 082(245)2571

九 州 092(475)1291

セイコータイムシステム株式会社

URL <http://www.seiko-sts.co.jp>